



秋田雨雀
土方与志 記念

青年劇場 第128回公演

豚と真珠湾

—幻の八重山共和国

◎作…斎藤隣 ◎演出…大谷賢治郎

2022年

9月9日(金)～18日(日)

紀伊國屋サザンシアター
TAKASHIMAYA

Tel.03-5361-3321

●JR新宿駅南口徒歩8分、新南改札徒歩5分

●JR代々木駅東口徒歩5分

●東京メトロ副都心線新宿三丁目駅E8出口徒歩5分

タカシマヤタイムズスクエア南館7階



※開場は開演の30分前。

アフタートーク	公演後にアフタートークを予定しています。日にち等詳細は追って、劇団ホームページ等でお知らせします。
配信予定	本公演は映像配信を予定しています(有料)。詳しくは、劇団ホームページでご確認ください。

7月12日(火)発売

●一般……………5,200円

●U30(30才以下)……………3,100円

●中高生シート……………1,000円

(各ステージ10席限定・劇団のみ受付・前売りのみ)

●当日 一般……………5,500円

●当日 U30(30才以下)……………3,400円

※料金はすべて消費税込です。

◎全席指定

◎障害者割引(4,200円)・団体割引あり(劇団のみ受付)

◎車椅子でご来場の方は準備の都合上、

必ず劇団までご連絡ください。

■青年劇場チケットサービス

Tel.03-3352-7200

ticket@seinengekijo.co.jp

https://www.seinengekijo.co.jp/



■チケットぴあ

Tel.0570-02-9999[Pコード513-549]

■キノチケットカウンター(店頭販売のみ10:00～18:30)

(新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店)

■キノチケオンライン

https://store.kinokuniya.co.jp/ticket/



秋田雨雀
土方与志 記念

青年劇場

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4F

Tel.03-3352-6922 Fax.03-3352-9418

1945年11月、戦争マラリアの死者がいまだ絶えない島で、料亭「オモト」の女主人南風原ナベは、孤児たちを養いながら長男英文の復員を待っていた…。

戦後から5年間のこの島でたくましく生きる人々の物語。

八重山の戦後を描いた斎藤隣の傑作に、大谷賢治郎氏を演出に迎え、青年劇場が挑みます。

斎藤隣(さいとうれん)

朝鮮平壤出身。1966年、俳優座養成所を卒業後、串田和美らと劇団「自由劇場」を結成。1969年からはフリーになる。1980年、自由劇場の『上海パンスキング』で岸田國士戯曲賞を受賞。偉人、著名人から市井の人々まで、時代に翻弄されながらもひたむきに生きる人間の姿を活写する戯曲は、高く評価されている。劇場開場時の記念公演を多数手がけ、1997年の東京国際フォーラム開場に際し歌謡曲作詞作曲家・西条八十の生涯を東京の変遷に絡めた『カナリア』を執筆し、菊田一夫演劇賞を受賞した。また2006年、長野の富農一家を通して戦後の日本人を見つめる『春、忍び難きを』で紀伊國屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞を受賞。2011年に逝去。(国際交流基金・日本の現代戯曲データベースより)

大谷賢治郎(おおたにけんじろう)

演出家。1972年東京都出身。サンフランシスコ州立大学芸術学部演劇学科卒。company ma主宰。児童劇から人形劇、古典から現代劇、市民劇から国際的コラボレーションなど様々な形態の舞台芸術を演出する。2017年から21年、アンテジ国際児童青少年演劇協会の世界理事として、国際的な児童青少年のための舞台芸術の発展のために力を注ぐ。また東京国立博物館の演劇的ガイドツアー、国内外での演劇ワークショップなど行なう。現在、桐朋学園芸術短期大学特任准教授、東京藝術大学非常勤講師、東京都立芸術総合高等学校特別専門講師を務める。青年劇場では、小劇場企画「動員挿話/骸骨の舞跳」(2015年)で初演出。以降、「原理日本」(2017年)、「宣伝」(2018年)、「鮮やかな朝」(2021年)で演出。定例公演では今回が初演出。

■出演



名川伸子



北 直樹



船津 基



岡山豊明



蒔田祐子



矢野貴大



岡本有紀



山田秀人



林田悠佑



安田遼平



原田真衣



山本直弥



若林古都美

幻の八重山共和国